

科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：経済思想 ILAS Seminar :Economic Thoughts			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 大黒 弘慈		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	共北3C			使用言語	日本語
キーワード	貨幣 / 信用 / 模倣 / 権力 / 同感						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
経済学の狭い枠にこだわらず、経済の本質にかかわる啓蒙的な本を土台に、問題意識の発掘に努める。							
[到達目標]							
現代経済の諸問題に対症療法的にバラバラに論じるのではなく、そのつど理論と思想に還元しながら体系的に理解する姿勢を養う。							
[授業計画と内容]							
貨幣は、あらゆる物が買えるという意味で、それがなければまともな社会生活が送れないと同時に、億万長者を夢想する守銭奴が、社会と縁を切ってひたすら蓄財に励む手段ともなりうる。こうした貨幣の逆説は、アリストテレスの古代から現代にいたるまで、人の注意を惹きつけてやまなかった。バブル崩壊、ユーロ統合、金融恐慌、ビットコインなどのきわめて現代的な現象もこのことと無縁ではない。このゼミでは、必ずしも経済学の枠にこだわらず、おもに貨幣と信用にかかわる書物を通じ、視野を広く取って問題意識の発掘に努めたいと思う。以下のような課題について、それぞれ2～3週授業をする予定である。あるいは年度に応じて2～3の課題を集中的に取り上げることがある。							
1. 比例と交換（マルクス、アリストテレス、交換的正義、配分的正義） 2. 類似と通貨（グレシャムの法則、コペルニクス、ニュートン、贋金づくり） 3. 模倣と信用（バジョット、タルド、国家と中央銀行） 4. 流行と慣習（スミス、ヴェブレン、先祖がえり） 5. 模倣と権力（高田保馬、勢力意志、従属本能、威信への渴望）							
[履修要件]							
後期「経済原論基礎ゼミナール」の連続した履修が望ましい。							
[成績評価の方法・観点]							
平常点評価（出席状況、報告内容、授業内発言）50点、学期末レポート50点により、総合的に評価する。							
[教科書]							
授業中に指示する							
[参考書等]							
(参考書) 大黒弘慈 『貨幣と信用』（東京大学出版会）ISBN:4-13-040172-6 大黒弘慈 『模倣と権力の経済学：貨幣の価値を変えよ（思想史篇）』（岩波書店）ISBN:978-							
-----ILASセミナー：経済思想(2)へ続く↓↓↓							

ILASセミナー：経済思想(2)

4000253208

その他、授業中に適宜紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

指定された古典を、適切な二次文献を参照にしながら、徹底的に読み込む。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]